

緑の基本計画（原案）へのご意見 No.1～No.4

1	頂いたご意見	倶知安町は半年間雪に覆われた豪雪地域であるので、1年を通じた緑の計画概念を含めてはどうか。5月から10月のイメージが強く感じます。冬季の景観この中には含まれないのでしょうか。
	町の考え方	ご意見のとおり、冬季における状況について下記のとおり、一部表現を修正します。
	計画書への反映方針	■緑の基本計画（原案）P1 1. 計画策定の背景と目的 3段落目 町民ニーズを把握した上で、今後も豊かな倶知安の自然を守り育むとともに都市の潤いのある公園、及び冬の暮らしやすさに対応した緑地の有効な配置、緑づくり活動を推進するため、新たに「倶知安町緑の基本計画」を策定します。
2	頂いたご意見	「都市公園の再生・活性化」「Park-PFI」は、是非とも推進して頂きたいです。せっかく綺麗に整備した公園に憩いを求めてくる人影が少ないのは残念です。カフェ等の出店希望している方もいるようです。（風土館～美術館公園 他）
	町の考え方	公園等は多くの方に親しまれる空間となるべきであり、機能面の多様性も求められます。町内には13箇所の都市公園がありますが、それぞれ規模や、目的、設備の状況が異なります。Park-PFIは、多くの方が集う空間に導入するなど、メリハリある公園の活用も踏まえたうえでの検討が必要と考えております。
3	頂いたご意見	「緑化率」のルールはリゾート地区のみならず、一定の規模を持った事業所やマンション・アパート・集合住宅など堆雪目的などの緑化基準を設けるべきと思います。
	町の考え方	雪対策は、本町のまちづくりを考える上で重要な要素と考えています。そのため、オープンスペースとしての緑地については、本計画原案P51施策③にて「開発行為による法定緑地は、堆雪場としての利用を前提とした配置、面積を確保します。」と整理しています。これを担保する手法として、並行して検討を進めている景観計画（素案）では、開発行為の景観形成基準として5%の緑地確保を求める内容としています。（都市計画法では3%となっています）
4	頂いたご意見	私はこの言葉をとても大切にしています。 景観10年、風景100年、風土1,000年 今回の緑の基本計画は、今を生きる私たちがすべき「未来との契約」と考えています。
	町の考え方	今回の緑の基本計画（原案）は、景観計画（素案）と併せて検討しており、双方連携を図るよう意識して作成しております。 特に、基本方針「3 町民の積極的な緑づくり活動の推進」（P40）は、本町の景観・風景・風土を形成する身近な取り組みとなるものであり、これまで育まれてきた文化をつなぎ、少しずつ高めていけるよう努めてまいります。